

教科	国語	科目	古典B	担当	
履修学年	2年	単位数	3	履修区分	普通科文系
教科書	精選古典B 古文編・漢文編（東京書籍）				
副教材等					

1 学習目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習評価

評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
a 関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。
b 読む能力	古典を読んで感情や思想などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。
c 知識・理解	伝統的な言語文化及び言語の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
					a	b	c		
前 期	4	古文	宇治拾遺物語集「小野篁、広才のこと	篁の字と人物像を理解する。言葉遊びの面白さを知る。	○	○	○	a 登場人物個々の人物像とその関係性を読み取ろうとしている。 b 帝と篁の関係性を読み取り、帝の篁に対する理解の変化とその理由をまとめることができた。 c 反語表現、敬語の基本を理解できている。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査
			伊勢物語「初冠」	歌物語としての「伊勢物語」について、基礎的な知識を持つ。本文中の歌の表現の工夫を理解する。	○	○	○	a 本文の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を捉えようとしている。 b 本文の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を捉えることができた。 c 歌物語というジャンルの特徴や「伊勢物語」について、知識を身につけている。	
			漢文	小話「不死之薬」	各段落の内容を理解し、この話の面白い点を読み取る。	○	○	○	
	6	漢文	古典文法練習						
			前期中間考査						
	6	古文	枕草子「すさまじきもの」	作者が「すさまじ」としている事柄とその理由について把握する。	○	○	○	a 作者が「すさまじ」としている事柄とその理由を本文に即して把握しようとしている。 b 作者が「すさまじ」としている事柄とその理由を本文に即して把握している。 c 「枕草子」の内容と作者について理解している。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査
			方丈記「安元の大火」	表現を味わい、特色を考える。記述内容を正確に読み取る。作者の主張を読み取る。	○	○	○	a 特徴的な表現を把握し、作品の特色を考えようとしている。 b 作者の主張を本文に即して把握している。 c この作品の内容と作者について理解している。	
		漢文	史記「鴻門之会」	時代背景を確認する。「鴻門之会」が開かれるに至った状況を理解する。登場人物の言動を読み取り、それぞれの働きを理解する。	○	○	○	a 登場人物の言動を正確に読み取り、それぞれの人物の立場や心情を理解しようとしている。 b 登場人物の言動を正確に読み取り、それぞれの人物の立場や心情を理解することができた。 c 時代的・地理的背景を確認している。「鴻門之会」が開かれるに至ったいきさつについて理解している。訓点や仮名遣いに注意して正しく音読している。語句・句法に注意して正しく現代語訳している。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査
			史記「四面楚歌」	項羽と劉邦の状況を理解する。項羽の作った詩を読み、項羽の気持ちを理解する。「四面楚歌」の意味を理解する。	○	○	○	a 登場人物の置かれている状況や心情を理解しようとしている。 b 登場人物の置かれている状況や心情を理解することができた。 c 訓点や仮名遣いに注意して正しく音読している。語句・句法に注意して正しく現代語訳している。「四面楚歌」の意味を理解している。	
			古典文法練習						
前期末考査									

後 期	5	9	古文	平家物語「忠度の都落ち」	音読によって内容や表現の理解を深める。忠度の和歌に対する心情を理解する。忠度と俊成の交情を理解する。	○	○	○	a 文章の内容を古語や表現に即して理解した上で、作者の意図を理解しようとしている。 b 文章の内容を古語や表現に即して理解した上で、作者の意図を理解している。 c 「平家物語」の背景を理解している。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査	
		古文	更級日記「門出」	女流文学への関心を持つ。作者の生活、物語への憧れ、門出にあたっての心境を読み取る。日記文学の特性を理解する。	○	○	○	a 本文を正確に読み、冒頭の一文を理解した上で、作者の心情を理解しようとしている。 b 本文を正確に読み、冒頭の一文を理解した上で、作者の心情を理解することができた。 c 単語や文法事項についての知識を深めながら、作品の概要を理解している。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査		
		漢文	人間論「無用の用」	老子の思想を理解し、「無用の用」の意味を正確に把握する。	○	○	○	a 老子の思想を理解しようとしている。 b 「無用」の意味に注意しながら、本文の内容を読み取っている。 c 助動詞の扱いに注意して書き下し、現代語訳している。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査		
			政治論「侵官之害」	本文に述べられている理想的な政治のあり方について理解する。	○	○	○	a 理想的な政治のあり方を理解しようとしている。 b 「韓非子」で説かれている政治思想を理解している。 c 訓点に注意して正しく書き下し、現代語訳している			
	11		古典文法練習								
	後期中間考査										
	5	11	3	古文	蜻蛉日記「なげきつつひとり寝る夜」	当時の結婚形態を学び、女性としての作者の心情を理解する。和歌の修辭とそこに表れる読み手の心情を理解する。	○	○	○	a 作者の心情について理解しようとしている。 b 作者の心情について理解できる。 c 作品・作者を理解している。当時の結婚形態を理解している。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査
				漢文	大鏡「道真の左遷」	本文の歴史的背景について基礎的知識を得、帝の処置の厳しさや筑紫に着くまでの道真の心情を、詩歌を通して順次読み取る。	○	○	○	a 道真の心情を理解しようとしている。 b 和歌と漢詩を正しく読解し、それぞれにおいて道真の心情を考えている。 c 「大鏡」の構成の特色を理解している。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査
		漢文	近体詩「早発白帝城」	唐詩の基本となる規則と特徴を復習し、作者の心情や情景を読み取る。	○	○	○	a 作者の心情や情景を読み取ろうとしている。 b 詩の内容を理解している。 c 詩形・押韻・対句を理解している。	・ノート ・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査		
		漢文	古体詩「石壕吏」	古体詩が近体詩以前からある詩形であることを理解し、違いを理解する。	○	○	○	a 古体詩と近体詩の違いを理解しようとしている。 b 現代語訳し、詩の主題や作者の心情を理解している。 c それぞれの詩の詩形・押韻を理解している。			
				古典文法練習							
後期末考査											

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	34	33	33	34
b	33	34	33	33
c	33	33	34	33
計	100	100	100	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- ①重要語句、重要句形、助動詞、敬語などを定着させるために自ら予習をして臨む。不明な箇所は単語帳、文法書、必携を活用して理解に努めること。
- ②課題、問題演習に丁寧に時間をかけて、よく考えて取り組むこと。
- ③提出物の期限を厳守すること。